

「技術者のための特許調査入門」

特許情報は重要な技術情報であり、企業等においては、重複研究・重複投資・重複出願を回避し、今後の研究開発の方向性を策定する上で必須のものです。

一方、企業等における特許調査には、専任の調査担当者が行う場合と、技術者・研究者が自らの技術主題について直接自分で調査する場合があります。インターネットが気軽に使える今日では、調査を行う機器等を含めた環境は敷居が低いものとなり、技術者・研究者が、自分の技術主題・研究テーマについて、ある程度の範囲での調査を行うことは一般化しつつあります。特に、自分の関係した技術分野に関する調査は、当該分野の専門家である技術者・研究者が自ら調査することにより、調査担当者が調査するよりも効率的な場合がしばしばあります。

しかし、技術者の方々は、普段の仕事は調査とは直接関係しないわけですから、なかなか調査手法を体系的に学ぶ機会に乏しく、我流で行った調査では、思わぬ落とし穴に落ちていることに気づかない場合も多々あります。

本講座では、無料で誰でも気軽に利用できる特許電子図書館（IPDL）を利用した事例により、基本的な特許調査から特許分類を活用した専門的な調査手法まで、初心者にも判りやすく説明します。技術者・研究者の方はもちろん、特許調査を最近手がけるようになった調査担当の方にも役立つ内容です。また、無料のIPDLと有料の特許データベースとの使い分けのポイントについても、あわせてご紹介します。

- 開催日 平成 23 年 5 月 31 日（火）13:30～17:00
- 協力 近畿知財戦略本部
- 開催場所 国立大学法人大阪大学中之島センター 7階セミナー室
大阪市北区中之島 4-3-53 06-6444-2100
- 講師 都築 泉 氏
(大阪工業大学 専門職大学院知的財産研究科 准教授)
- 定員 50名 (定員になり次第締め切ります。)
- 参加料 会員 5,000円 (一般 12,000円) (テキスト代含、消費税込)
2名以上お申込みの場合、2人目から50%引き (大阪発明協会法人会員のみ)

(1) 3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返しできませんので
予めご了承下さい。

(2) 聴講券、納品書又は請求書は、講座開催日の10日前頃に郵送
いたします。

□ プログラム

- ・ 特許調査の基本
- ・ I P D L のデータベース
- ・ I P D L の公報テキスト検索
- ・ 特許分類の活用
- ・ I P D L と商用データベースの使い分け

切り取り線

大阪発明協会 企画サービスグループ行き		FAX 06 - 6479 - 3930	
「技術者のための 特許調査入門」 申込書			
2011年5月31日開催			
申込日 平成 年 月 日			
会社名 又は氏名		部署名及び 連絡担当者	
ご住所 〒			
TEL		FAX	
受講者氏名		所属部署名	実務経験年数
e - mail		専攻(該当するものに をしてください。) ・法律系 ・理工系 ・その他	
受講者氏名		所属部署名	実務経験年数
e - mail		専攻(該当するものに をしてください。) ・法律系 ・理工系 ・その他	
お申し込み者宛に、国の説明会、講座・セミナーほかの情報をご案内させていただく場合があります。なお、案内などを希望されない場合は、当支部へお申し付けください。 許可なくして講義内容を録音することを固く禁じます。			

お支払方法 (予納金・現金・銀行振込・郵便振替)

1. 請求書 (要 不要)

振込先 三井住友銀行 大阪本店営業部 普通預金 7900182
三菱東京UFJ銀行 中之島支店 普通預金 0042472
郵便振替口座 00940 - 7 - 312572

2. 予納金処理の方 得意先コード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

会員・非会員の区別(法人会員・個人会員 発明協会 一般)